



年頭のご挨拶

(公社) 燕西蒲法人会青年部会
部会長 後藤 武志

会員の皆様、新年明けましておめでとうございます。御座います。昨年中は法人会の活動にご協力戴きまして誠に有難う御座いました。

昨年の活動を振り返りますと、各種セミナーや租税教室の開催・健康経営活動に加え、女性部会様や巻税務署様のご協力を戴いた税金クイズ等、盛沢山な内容であったと存じます。会員の皆様のご協力に感謝すると共に、事務局の皆様、お骨折有難う御座いました。

さて、我々経営者を取り巻く環境と致しまして様々な課題が山積致しております。人員不足、労務費の上昇、諸物価高騰、金利上昇等、枚挙に暇がありません。

聞き及ぶ所に寄りますと、2025年度の法人税収が過去最高を記録する見込みとの事ですが、中小零細企業に身を置く者として日々感じている経済の状態と、乖離している気がしてなりません。

諸々の課題に共通する対策として、一般的に「生産性の向上」が挙げられます。AI や IoT、DX 等の新しい技術を「生産性の向上=コストダウン」に活用するのも一例でしょうか。生き残りを賭け各企業様で日々取り組んでおられる事と存じます。

現在、高収益を確保しておられるビジネスモデルを拝見しておりますと、前述のコストダウンに加えて「付加価値の創出」にも注力されておられる様に拝察致します。一例として、全く新しい「モノ」ではなくても既存の製品やサービスに新たな視点やアイデアを付け加える事で CS (顧客満足度) を上昇させ「高付加価値化=高価格化→利益の向上」を目指す考え方です。

どちらの手法が勝っているという観点ではなく、どちらの手法にも共通して「情報」という要因が欠かせないのではないのでしょうか。この「情報の入手」に当法人会青年部会がどのように資する事が出来るのか…。皆さんと考えて行きたいと存じます。

当燕西蒲法人会青年部会の発展と会員の皆様のご隆盛、並びに従業員さん達のご健康を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

(公社) 燕西蒲法人会女性部会
部会長 長谷川 正子

皆様、明けましておめでとうございます。新たな年の初めを迎え、皆様には健やかに過ごしの事と、お慶び申し上げます。

昨年1年間の女性部会を振り返りますと、4月の「全国女性フォーラム (広島大会)」に参加した際、1,500人を超える参加者を見てすっかりコロナ前の状況に戻って来たように感じました。主催される方々の並々ならぬご苦労が伺える素晴らしい大会でした。

また、6月の総会においては巻税務署長をはじめ来賓の皆様から温かいお言葉頂戴し、また1年頑張っ行ってこうという気持ちが高まりました。

改めて皆様からの更なるご指導、ご協力をお願い申し上げます。

租税教育活動においては、租税教室で5つの小学校に伺い、税に関する絵はがきコンクールの募集など着実に活動成果を残すことが出来ました。112点の応募があった「税に関する絵はがきコンクール」では、審査による優秀作品が合同納税表彰式で表彰されました。

巻税務署の皆様のご協力で10月には「燕青空即売会」会場で「税金クイズ」を実施、昨年に続いて大盛況となりました。

上越市で開催された県連の合同セミナーでは、思いもかけず「熟年チアダンスチーム」の踊りに触発され、「燕西蒲でも」という声が上がります。年末から準備に入ったところです。シニアチームとしての活動に是非、体験から始めてみてください。

2025年は巳年、古い皮を脱ぎ捨てて新たな女性部会を目指し、一歩ずつ前に進んで行きたいと考えています。

結びに、燕西蒲法人会女性部会の益々の発展と、部会員並びにご家族様のご健勝を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

会員・部会員の募集

青年部会・女性部会では、新入会員を募集しています。

さまざまな事業を通して、たくさんの仲間と出会うことが出来ます。

青年部会では「BCP(事業継続計画)」や「健康経営の推進」などに取組み、会員相互に自己研鑽を図っています。

女性部会では「チアダンスサークル」を立ち上げ、部会員の心身の健康維持に努めています。

